

教育普及に関わる活動報告 Report on Educational Programs

1) Fun with Collection ファン・ウィズ・コレクション

今年度は、「いろいろメガネPart 1 — あなたの見かた教えてください」(詳細は「展覧会」参照)と題して、来館者による当館のコレクションの見かた、楽しみかたをテーマに、それぞれの「メガネ」について考えたり、お互いに「メガネ」を交換したり、自分とは違う作品の見かた、感じかたを体験するプログラムを実施した。

「あなたがつづるこの1点」

常設展示の中から気になる1点を選び、その作品について感じること、思い出、解釈など、個人の見かたで綴ったエッセイを募集した。応募の中から各審査員がそれぞれに選んだエッセイ(計30点)は、パネルにして展示室の作品横に掲示、さらに当館のホームページで紹介した。また、応募エッセイ433点すべてを小冊子にまとめ、常設展示室の休憩椅子で来館者が自由に読めるよう設置した。

応募期間・応募数:2005年7月1日-10月31日/433点
公開発表:当館常設展示室とホームページ(2006年1-8月)
審査員:内館牧子(脚本家)/みうらじゅん(イラストレーター)/青柳正規(当館館長)

「みうらじゅんの大講評会」

「あなたがつづるこの1点」で集まったエッセイから、審査員のひとりであるみうらじゅん氏が自らのメガネで選んだ45点についてトークを行なった。

講師:みうらじゅん(イラストレーター)
日時・場所:12月3日(土) 14:00-15:30 講堂
対象・参加者:一般 145名
参加費:無料

「君の名は? — あなたも作品の名づけ親」

毎月、常設展示から3点の作品を選んで題名を隠し、作品の前に用意したノートに、来館者が自由に考えた題名を書く自由参加プログラム。

実施期間:2005年7月1日-2006年5月28日
場所:常設展示室内

「感じたままに詠んでみよう! — セイビ de ハ・イク(俳句)」

絵や彫刻を見て感じた気持ちを、俳句で表現。展示室で選んだ作品について最初の五文字を詠んだら、他の人と短冊を交換して人が詠んだ五文字からそれがどの作品かを想像して次の七文字をつなげ、同様に最後の五文字を詠み、3人でひとつの俳句を完成させた。

進行:ゴウヤスノリ(ワークショップ・プランナー)
日時:7月24日(日)[半日プログラム] 午前の部 10:30-12:30/午後の部 13:30-15:30
対象・参加者:中学生以上/計20名
参加費:無料

「国立西洋美術館いいとこ撮り — 子ども撮影隊が行く!」

自分のお気に入り作品や場所を撮影して、国立西洋美術館の紹介ビデオを作るプログラム。作品選び、シナリオ作成、ビデオの操作練習、撮影を3日間かけて行ない、完成したビデオ作品を最終日に家族や友人を招いて上映した。

進行:山本良子(映像制作)
日時:7月30日(土)、31日(日)、8月1日(月)、7日(日)[4日間プログラム]

10:00-17:00(8月7日は13:30-15:30)

対象・参加者:小学5・6年生/3名
参加費:1500円

「集まれ!こども審査員 — お気に入りに賞をつけよう!

美術館の絵や彫刻を見て、自分が好きな作品や気になる作品に自分で考えた賞をあげるプログラム。

進行:ゴウヤスノリ(ワークショップ・プランナー)

日時:8月9日(火) 13:30-16:30
対象・参加者:小学4-6年生/8名
参加費:無料

「ファインダー越しの美術館 — 自分だけの写真集を作ろう」

美術館の建物や展示作品を写真で切り取り、各々の視点から見た美術館の写真集を作るプログラム。同じ作品を見ても視点の違いから全く異なる写真集が完成した。

講師:中島古英(フォトグラファー)
日時:8月20日(土)、21日(日)[2日間プログラム] 10:00-17:00
対象・参加者:高校生以上/10名
参加費:1500円

「日曜日の美術館 — 私のメガネで見てみます?」

各界からさまざまな講師を迎え、各々の専門や興味を視点に美術作品の見かた、楽しみかたを紹介するレクチャー・シリーズ。

時間・場所:14:00-15:30 講堂
対象・参加費:一般 無料
9月18日(日) 高畑 勲(アニメーション映画監督) 参加者:54名
10月2日(日) 林 英哲(太鼓奏者) 参加者:133名
10月16日(日) 舟田詠子(東海大学非常勤講師) 参加者:56名
11月6日(日) 森 英恵(ファッション・デザイナー) 参加者:129名

「美術館のクリスマス」

キリストの誕生を祝うクリスマスにちなんだプログラム。展示室で《キリスト降誕》の絵を見ながらクリスマスの話を聞き、キリストが描かれたその他の絵画作品を家族で鑑賞。その後でクリスマス・ツリーの飾りを作り、美術館入り口ロビーのクリスマス・ツリーに飾った。

進行:ボランティア・スタッフ
日時:12月17日(土)、18日(日)[半日プログラム](4回とも同じ内容)
午前の部 10:00-12:30/午後の部 14:00-16:30
対象・参加者:6-9歳の子どもとその家族/計68名
参加費:無料

「クリスマス・キャロル」

イエス・キリストの生誕を祝うクリスマス。その季節に、聖歌隊が街角で歌う楽しいクリスマスの歌を特集したアカペラ・コンサートを行なった。自由参加プログラム。

企画・進行:岡伊陽子、小島里枝子、二宮由希(東京芸術大学大学院)
合唱:東京芸術大学声楽科有志
日時・場所:12月17日(土)、18日(日) 13:00-14:40/16:00-16:40
美術館入り口ロビー
対象・参加者:一般/計約200名

「サンタクロースの物語」

キリストの誕生を祝うクリスマスに、今では欠かせないサンタクロース。絵画に描かれた聖ニコラウスが、現代のサンタクロースになるまでの変遷に関するレクチャー。

講師：葛野浩昭（聖心女子大学助教授）
日時・場所：12月23日（金） 14:00 - 15:30 講堂
対象・参加者：中学生以上 / 34名
参加費：無料

2) 特別展関連プログラム

年3回開催される特別展に関連して実施される、講演会、シンポジウム、スライドトーク、ギャラリートーク、コンサートなど。

■講演会

時間・場所：14:00 - 15:30 講堂
対象・参加費：一般 / 無料

[ジョルジュ・ド・ラ・トゥール — 光と闇の世界]

- 4月2日（土）参加者：150名
「アトリビュートから読み解く、ラ・トゥール作《聖トマス》」
木村三郎（日本大学教授）
- 4月23日（土）参加者：140名
「私とラ・トゥール『夜の画家』研究ノート」
田中英道（東北大学教授）
- 4月30日（土）参加者：140名
「ラ・トゥールとロレーヌ公国の美術」
大野芳材（青山学院女子短期大学教授）
- 5月7日（土）参加者：111名
「見えないものを描く — 17世紀フランス思想とジョルジュ・ド・ラ・トゥールの作品世界」
塩川徹也（東京大学教授）
- 5月21日（土）参加者：155名
「ラ・トゥールの光と闇 — ジョルジュ・ド・ラ・トゥール展解題」
高橋明也（当館主任研究官）

[ドレスデン国立美術館展 — 世界の鏡]

- 7月3日（日）参加者：63名
「ピルニッツ城保管の日本製輸出漆器」
加藤 寛（東京国立文化財研究所修復技術部長）
- 7月24日（日）参加者：124名
「ヨーロッパにことつてのトルコ — 歴史的な文脈から」
新井政美（東京外国語大学教授）
- 8月14日（日）参加者：75名
「ヨーロッパ近世科学機器と日本・中国への伝播」
中村 士（国立天文台助教授）
- 9月11日（日）参加者：120名
「ドレスデン — 世界の鏡：展覧会のコンセプト」
佐藤直樹（当館主任研究官）

[キアロスクーロ — ルネサンスとバロックの多色木版画]

- 10月15日（土）参加者：30名
「ドイツのキアロスクーロ木版画」
保井重弓（金沢美術工芸大学助教授）
- 10月29日（土）参加者：33名
「オランダのキアロスクーロ木版画 — ホルツィウスを中心に」
幸福 輝（当館学芸課長）
- 11月12日（土）参加者：65名
「キアロスクーロ木版画の技法を推理する」
柄澤 齋（版画家）
- 11月26日（土）参加者：34名
「イタリアのキアロスクーロ木版画」
渡辺晋輔（当館研究員）

[ロダンとカリエール]

3月7日（火） 13:00 - 15:30 参加者：83名

「ロダンと『偉大なる芸術家のアトリエ』」

アントワネット・ル・ノルマン＝ロマン（パリ、ロダン美術館主任学芸員）

「19世紀フランスにおけるロダンとカリエール」

エマニュエル・エラン（パリ、オルセー美術館学芸員）

■ギャラリートーク・スライドトーク

時間・場所：18:00 - 18:40 展示室あるいは講堂
対象・参加費：一般 / 無料ただし展覧会観覧券が必要

[ジョルジュ・ド・ラ・トゥール — 光と闇の世界]

4月1日（金）、15日（金）、29日（金）、5月13日（金）、20日（金）
スライドトーク：大谷公美（慶應義塾大学大学院博士課程）
参加者：計532名

[ドレスデン国立美術館展 — 世界の鏡]

7月8日（金）、22日（金）、8月5日（金）、19日（金）、9月2日（金）、16日（金）
スライドトーク：落合桃子（早稲田大学大学院博士課程）
参加者：計629名

[キアロスクーロ — ルネサンスとバロックの多色木版画]

10月14日（金）、28日（金）、11月11日（金）、25日（金）、12月2日（金）
ギャラリートーク：渡辺晋輔（当館研究員）
参加者：計120名

[ロダンとカリエール]

3月24日（金）
スライドトーク：近藤真彰（駒澤大学非常勤講師）
参加者：43名

■コンサート

「ラ・トゥールの聴いた響きをもとめて」

ラ・トゥールの絵にも描かれているヴィエル（手回し琴）などの古楽器を交え、古謡集を中心としたプログラムによって、ラ・トゥールの時代の息吹を再現した。

日時：5月12日（木）、14日（土）、15日（日）（3回とも内容は同じ）

19:15 - 20:15（18:45開場）

場所：企画展示ロビー（B2F）

企画協力：大橋マリ、富田三紀子

制作：アンフィニ

演奏：ル・ボエム・アルモニック（仏の古楽アンサンブル）

対象・参加者：一般 / 計300名

参加費：3,800円（展覧会特別公開を含む）

「オスマン・トルコへの恐怖と憧憬 — 帝国拡張がもたらした音楽文化の多様性」

ドレスデン展に関連してトルコ音楽に焦点をあて、ベートーヴェンやモーツァルトの楽曲にみられるトルコの軍楽の影響を紹介し、さらにトルコ独特の楽器サズやダルブッカによる多様な民謡をベリーダンスとともに演奏した。

日時：9月9日（金） 18:00 - 19:30（17:30開場）

場所：企画展示ロビー（B2F）

企画・トーク：瀧井敬子（東京芸術大学演奏芸術センター助手）

特別ゲスト：斉藤 完（トルコ音楽研究者）

演奏：FUJI（サズ）、立岩潤三（ダルブッカ）、東京芸術大学有志

ベリーダンス：Nenuphar, Yumi

対象・参加者：一般 / 100名

参加費：無料

3) ファミリープログラム

ファミリープログラムは、常設展が無料観覧となる各月の第二・第四土曜日に行なわれる。常設展示室で利用する家族向けの鑑賞用教材「びじゅつーる」の無料貸与と、コレクションの鑑賞と創作などの体験がセットになった「どようびじゅつ」があり、いずれも教育普及室とボランティア・スタッフによって運営、実施されている。

■びじゅつーる

美術のことをよく知らない、また美術館が初めてという家族を対象に作られたツールで、常設展にある絵や彫刻を、いろいろな方法で楽しむための道具やゲームなどが盛り込まれている。今年は5種類のツールを貸し出した。

対象：6-10歳の子どもと同伴の大人
貸出日：2005年4月9日(土)、23日(土)、5月14日(土)、28日(土)、9月10日(土)、24日(土)、10月8日(土)、22日(土)、11月12日(土)、26日(土)、2006年3月11日(土)、25日(土)
時間：10:00-17:00(随時)
利用者：計755名

■どようびじゅつ

常設展示室の作品鑑賞とそれに関連する創作や体験がセットになった予約制プログラム。

今年度は、2種類のプログラムを実施した。

「暑中お見舞い申し上げます」

常設展示室の中から気に入った作品を探し出し、その作品の写真を撮ってカードを作り、美術館から家族や親戚、友達などへ暑中見舞いを送った(内容は8回とも同じ)。

対象：6-10歳の子どもと同伴の大人
日時：2005年7月9日(土)、23日(土)、8月13日(土)、27日(土) 午前10:30-12:30/午後14:00-16:00
参加者数：計131名

「キラキラ色のヒミツ」

展示室で金色(金箔)が使われている絵をじっくり見た後に、ロウソクの光の下で輝く金箔を見たり、薄い金箔に触れるなどの体験をした。最後に、金色の地の上に思い思いに絵を描いた(内容は4回とも同じ)。

対象：6-10歳の子どもと同伴の大人
日時：2006年2月11日(土)、25日(土) 午前10:30-12:30/午後14:00-16:00
参加者数：計73名

4) 学校関連プログラム

■スクール・ギャラリートーク

当館の常設展示作品について、ボランティア・スタッフが中心となって実施している予約制のギャラリートーク。

2005年度：1214名(41件)
未就学児童=48名(3件)、小学生=696名(16件)、中学生=293名(15件)、高校生以上=177名(7件)

■オリエンテーション

大人数の団体を対象に、教育普及室のスタッフが講堂で行なう常設展あるいは特別展についての予約制の解説。

2005年度：689名(12件)
小学生=178名(2件)、中学生=202名(3件)、高校生以上=309名(7件)

■職場訪問

修学旅行あるいは総合学習の一環としてグループで来館する生徒を対象に、美術館の概要、学芸員の仕事など、各々の質問に教育普及室のスタッフが対応。

2005年度：144名(26件)
中学生=95名(20件)、高校生以上=49名(6件)

■先生のための観賞プログラム

各特別展ごとに小・中・高等学校の職員を対象に、展覧会の趣旨やおもな作品について展覧会担当者が講堂で行なう解説。

「ドレスデン国立美術館展——世界の鏡」

日時：7月15日(金) 18:00-18:40(17:30受付開始)
講師：佐藤直樹(当館主任研究官)
参加者：102名

「キアロスクーロ——ルネサンスとバロックの多色木版画」

日時：10月21日(金) 18:00-18:40(17:30受付開始)
講師：渡辺晋輔(当館研究員)
参加者：104名

「ロダンとカリエール」

日時：3月17日(金) 18:00-18:40(17:30受付開始)
講師：大屋美那(当館主任研究官)
参加者：96名

■夏期研修

武蔵野市小中学校美術研究会研修会

日時：7月25日(月) 10:00-17:00
内容：作品鑑賞、鑑賞についてディスカッション、ドレスデン展のギャラリートークおよび Fun with Collection いろいろメガネ Part 1 の概要説明などを実施した。
対象・参加者：14名

東京都国画工作研究会 / 東京国立近代美術館 / 国立西洋美術館 合同研修会

日時：8月29日(月) 10:00-17:00
内容：課題の発表、作品鑑賞の基礎である「見る」ことの練習、美術史家による作品研究の方法論の講義、鑑賞と学校の美術館利用についてディスカッションなどを実施した。
参加者・人数：16名

5) ボランティア

当館では、2004年にボランティア制度を立ち上げ、その年の後半から活動を開始した。19名('05年現在)のボランティア・スタッフは、ファミリープログラムとスクール・ギャラリートークを中心に活動を行なっている。また、活動に必要な知識や技術を身につけるため、年間を通じて随時研修にも参加している。

■2005年度の活動内容

- ①ファミリープログラム *3)ファミリープログラム欄参照
・びじゅつーる：当館にて作成されたファミリー向け観賞用教材「びじゅつーる」貸し出し受付。
・どようびじゅつ：体験型プログラム「どようびじゅつ」におけるトークや創作の進行、およびプログラムの企画。
- ②スクール・ギャラリートーク *4)学校関連プログラム欄参照
学校の児童生徒向け対話型トークの実施。
- ③その他
・Fun with Collection 2005「いろいろメガネ Part1——あなたの見か

た教えてください」のプログラム補助 *1) Fun with Collection 欄参照

・1月2日に行なわれた「～美術館・博物館へ行こう～ A Day in the Museum」での一般に向けたギャラリー・トーク

■2005年度の研修

- ①4月7日(木) 桜井美術鑄造見学
- ②4月21日(木) 「修復について」河口公夫(当館主任研究官)
- ③6月11日(木) どうようびじゅつ「暑中お見舞い申し上げます」模擬練習
- ④6月25日(木) 「ソンマ遺跡発掘調査について」青柳正規(当館館長)
- ⑤9月1日(木) 活動の評価と反省
- ⑥9月22日(木) 「Fun with Collectionについて」寺島洋子(当館主任研究官)
- ⑦10月6日(木) 「保存科学について」塚田全彦(当館主任研究官)
- ⑧10月29日(木) 「中学生と美術」水野谷憲郎(東京学芸大学教育学部附属小金井中学校教諭)
- ⑨12月15日(木) どうようびじゅつ「キラキラ色のヒミツ」模擬練習
- ⑩3月30日(木) 活動の評価と反省

6) インターンシップ

当館では、西洋美術に関心をもつ人材の育成と、当館の活動をより広く理解してもらうことを目的として、大学院生以上を対象としたインターンシップを実施している。当館職員の指導のもと、研修生は所蔵作品の調査、展覧会や教育プログラムの企画補助など、それぞれが希望する専門分野に分かれてさまざまな業務に実際に携わる。

[教育普及室]

指導: 寺島洋子・藤田千織

インターン: 海老名熱実、斉藤佳代

期間: 2005年5月1日～10月31日

内容: ①ジュニア・パスポート(小・中学生対象の特別展ガイド)の改善調査とキアロスケーロ展のジュニア・パスポート作成
*詳細は、「2005年度インターンシップ報告書」参照
②Fun with Collection「いろいろメガネPart 1」関連プログラムの補助

7) 他組織との連携

■東京都立飛鳥高校課外授業への協力

日時: 5月20日(金)/28日(土)、6月18日(土)/24日(金)、7月1日(金)
計10時間

内容: 国立西洋美術館の概要、絵画作品と描画技法、彫刻作品と鑄造技法、美術館建築について
参加者: 7名

■国立科学博物館主催「上野の山ミュージアムクラブ」への協力

日時: 7月18日(月・祝) 9:30～16:00
内容: 油彩画とその技法(作品鑑賞と絵具作り)
対象/参加者: 中学生/23名

■東京大学大学院人文社会系研究科文化資源学研究専攻の教育・研究における連携・協力

期間: 2005年4月1日～2006年3月31日
内容: 文化資源学研究専攻の一層の充実と、当該研究科の学生の資質向上を図り、相互の教育・研究の交流を促進した。

8) 出版物

■展覧会カタログ(*展覧会の欄参照)

■展覧会パンフレット

展覧会の概要と出品作品リストを含む無料配布のパンフレット

[ドレスデン国立美術館展—世界の鏡] A4(4頁)

[キアロスケーロ—ルネサンスとバロックの多色木版画] B5(4頁)

[ロダンとカリエール] A4(4頁)

■ジュニア・パスポート

展覧会の入場券を兼ねた小・中学生を対象とした展覧会ガイド

[ドレスデン国立美術館展—世界の鏡] B4(4つ折り)

[キアロスケーロ—ルネサンスとバロックの多色木版画] B4(4つ折り)

[ロダンとカリエール] B4(4つ折り)

■ゼフュロス

当館の展覧会や教育プログラムなどの活動を広報する季刊(年4回)のニューズレター。

2005年度: No.23～No.26 A3(三つ折り)

(寺島洋子)

(1) Fun with Collection

The Fun with Collection program this year was entitled *Various Colored Eyeglasses Part 1: Tell me about how you see* (See Exhibition report for details). This program focused on the theme of how visitors to the museum view and enjoy art works. The program encouraged visitors to exchange their viewpoints or their ways of enjoying art works, and thus they experienced different ways of looking at and experiencing artwork.

“Write About Your Special Art Work”

Visitors were asked to select one art work from the Permanent Collections galleries and write an essay on their thoughts on the work, giving their interpretation of the work from their own individual perspective. Judges then chose a total of 30 essays from those submitted; the texts were displayed on panels near the art works involved and were also posted on the museum's website. All 433 of the essays submitted were printed in a pamphlet, and copies of the pamphlets were placed on the rest benches in the Permanent Collection galleries, allowing visitors a chance to freely enjoy these interesting texts.

1 July – 31 October, 2005

Total number of essays: 433 essays

Publication: Permanent Collection Gallery and NMWA website from January through August 2006

Judges: Makiko Uchidate (Playwright), Jun Miura (Illustrator), Masanori Aoyagi (Director, National Museum of Western Art)

“Jun Miura Lecture”

Jun Miura, one of the judges of the essays written for the “Write About Your Special Art Work” program, spoke on his own selection of 45 of the essays.

December 3 (Sat.) 14:00 – 15:30 Lecture Hall

Speaker: Jun Miura (Illustrator)

Participants: approx. 150

Free of charge

“What is Your Name? You Become the Titled of Art Works”

In this program three art works were chosen every month, their labels and titles hidden. Then visitors were asked to write their own ideas for

the names on paper available near the art works.

July 1, 2005 – May 28, 2006

Permanent Collection Gallery

“Composing Just What We Feel! - *Haiku* at the NMWA”

This program had visitors use *haiku* poetry to express their feelings when they viewed art works. One person would write the first five character line about a selected art work on a *tanzaku* card made for poetry transcription, and then handed the card to another person. Based on that first line, the second person would imagine which art work was being discussed and added their own second seven-character line. The card was then handed to a third person, who would write the third five-character line. Thus this unusual program had three people write a single *haiku* poem.

July 24 (Sun.) 10:30 – 12:30, 13:30 – 15:30 [Half-day program]

Facilitator: Yasunori Gou (Workshop Planner)

Target: Over the age of 13

Participants: 20

Free of charge

“Let’s Film the Great Places at the NMWA - The Dispatch of the Kid Video Troops!”

This program had participants shoot video footage of the art works and areas of the NMWA that appealed to the participant in order to create their own introductory video of the museum. The project took three days and involved choosing art works, making a script, practicing the use of the video cameras and actual filming. A screening was held of the completed videos on the final day and friends and family members were invited to attend the screening.

July 30 (Sat.), 31 (Sun.), August 1 (Mon.) and 7 (Sun) [4-day program]

10:00 – 17:00 (August 7, 13:30 – 15:30)

Facilitator: Ryoko Yamamoto (Video Maker)

Target: 11 and 12 year-olds

Participants: 3

Participation fee: 1,500 yen

“Gather One and All! - Kid Judges Award Prizes to Their Favorite Art Works!”

In this program, children selected the art works they liked from among the paintings and sculptures on display and awarded them prizes that they made up.

August 9 (Tue.) 13:30 – 16:30 [Half-day program]

Facilitator: Yasunori Gou (Workshop Planner)

Target: 10 – 12 year-olds

Participants: 8

Free of charge

“The Museum Through the Viewfinder: Making Your Own Photo Collection”

This program had participants cut out photographs of museum buildings and art works and create their own photo collection. While some included the same art works, the different vantage point of each participant resulted in completely different photo collections.

August 20 (Sat.) and 21 (Sun.) 10:00 – 17:00 [Two-day program]

Instructor: Kohide Nakashima (Photographer)

Target: 16 years and older

Participants: 10

Participation fee: 1,500 yen

“Sunday Art Museum: Want to Look through My Glasses?”

This lecture series by specialists from a wide range of fields featured each lecturer’s look at art works from their own particular professional or personal vantage point.

14:00 – 15:30, Lecture Hall, target: Over the age of 16, free of charge

September 18 (Sun.)

Isao Takahata (Animated Movie Director)

Participants: 54

October 2 (Sun.)

Eitetsu Hayashi (Taiko Drummer)

Participants: 133

October 16 (Sun)

Eiko Funada (Lecturer, Tokai University)

Participants: 56

November 6 (Sun.)

Hanae Mori (Fashion Designer)

Participants: 129

“Christmas at the Museum”

This program was held during the Christmas season, the holiday that honors the birth of Christ. The Christmas story was told in the gallery next to a depiction of the Nativity scene, and the participating family members looked at a number of works in the gallery depicting Christ. Then the group made Christmas ornaments and decorated a Christmas tree set up in the entrance lobby.

December 17 (Sat.) and 18 (Sun.), 10:30 – 12:30, 14:00 – 16:30 [Half-day program]

Facilitator: NMWA volunteer staff

Target: 6 – 9 year-olds and their family members

Participants: 68

Free of charge

“Christmas Carols”

This program was held during the Christmas season. During this season it is traditional for choirs to stand on street corners and sing Christmas carols. This accapella concert presented a selection of carols.

December 17 (Sat.) and 18 (Sun.), 13:00 – 13:40 and 16:00 – 16:40,

Entrance lobby

Organizers: Yoko Oka, Rieko Kojima and Yuki Ninomiya (Tokyo National University of Fine Arts and Music)

Choir: Students and graduates of the Tokyo National University of Fine Arts and Music

Participants: approx. 200

Free of charge

“The Story of Santa Claus”

Santa Claus, a now indispensable part of the Christmas holiday celebrating the birth of Christ. This lecture covered the transformation of St. Nicholas, as depicted in paintings, to his current manifestation as Santa Claus.

December 23 (Fri.), 14:00 – 15:30, Lecture Hall

Lecturer: Hiroaki Kuzuno (Associate Professor, University of the Sacred Heart, Tokyo)

Target: Over the age of 13

Participants: 34

Free of charge

(2) Programs Related to Special Exhibitions

■ Lectures

Related to the exhibition “George de La Tour”

14:00 – 15:30, Lecture Hall, Free of charge

April 2 (Sat.) Participants: 150

“La Tour and 17th Century Iconography”

Saburo Kimura (Professor, Nihon University)

April 23 (Sat.) Participants: 140

“Research Note: Myself and La Tour’s Nocturnes”

Hidemichi Tanaka (Professor, Tohoku University)

April 30 (Sat.) Participants: 140

“La Tour and the Arts of the Duchy of Lorraine”

Yoshiki Ono (Professor, Aoyama Gakuin Women’s Junior College)

May 7 (Sat.) Participants: 111

“Painting the Unseen: 17th century French philosophy and the artistic world of Georges de La Tour”

Tetsuya Shiokawa (Professor, University of Tokyo)

May 21 (Sat.) Participants: 155

“La Tour’s Light and Shadow: Explaining the Georges de La Tour Exhibition”

Akiya Takahashi (Curator, The National Museum of Western Art)

Related to the exhibition “Dresden - Mirror of the World”

14:00 – 15:30, Lecture Hall, Free of charge

July 3 (Sun.) Participants: 63

“The Japanese Export Lacquers in the Collections of the Pillnitz Castle”

Hiroshi Kato (Head of Restoration Technique Department, National Research Institute for Cultural Properties, Tokyo)

July 24 (Sun.) Participants: 124

“Turkey from the European Point of View: A Historical Context”
Masami Arai (Professor, Tokyo University of Foreign Studies)

August 14 (Sun.) Participants: 75

“Modern European Scientific Equipment and Their Transmission to Japan and China”

Tsuko Nakamura (Associate Professor, National Astronomical Observatory of Japan)

September 11 (Sun.) Participants: 120

“Dresden - Mirror of the World: On the Exhibition Concept”
Naoki Sato (Curator, The National Museum of Western Art)

Related to the exhibition “Chiaroscuro Woodcuts from the Frits Lugt Collection in Paris”

14:00 – 15:30, Lecture Hall, Free of charge

October 15 (Sat.) Participants: 30

“Chiaroscuro Woodcuts in Germany”

Ayumi Yasui (Associate Professor, Kanazawa College of Art)

October 29 (Sat.) Participants: 33

“Chiaroscuro Woodcuts in the Netherlands: Featuring Hendrick Goltzius”

Akira Kofuku (Head Curator, National Museum of Western Art)

November 12 (Sat.) Participants: 65

“Detecting Chiaroscuro Woodcut Techniques”

Hitoshi Karasawa (Printmaker)

November 26 (Sat.) Participants: 34

“Chiaroscuro Woodcuts in Italy”

Shinsuke Watanabe (Curator, National Museum of Western Art)

Related to the exhibition “Rodin and Carrière”

13:00 – 15:30, Lecture Hall, Free of charge

March 7 (Tue.) Participants: 83

“Rodin and ‘The Greatest Painter’s Atelier’”

Antoinette le Normand-Romain (Head curator, Musée Rodin)

“Rodin and Carrière: An artistic friendship in Paris at the end of nineteenth century”

Emmanuelle Héran (Curator, Musée d’Orsay)

■ Gallery Talk

Related to the exhibition “Chiaroscuro Woodcuts from the Frits Lugt Collection in Paris”

18:00 – 18:40, Special Exhibition Galleries, Admission fee

October 14 (Fri.), 28 (Fri.), November 11 (Fri.), 25 (Fri.) and December 2 (Fri.)

Speaker: Shinsuke Watanabe (Curator, National Museum of Western Art)

Total participants: 120

■ Slide Talk

Related to the exhibition “George de La Tour”

18:00 – 18:40, Lecture Hall, Admission fee

April 1 (Fri.), 15 (Fri.), 29 (Fri.), May 13 (Fri.) and 20 (Fri.)

Speaker: Kumi Otani (Keio University)

Total participants: 532

Related to the exhibition “Dresden – Mirror of the World”

18:00 – 18:40, Lecture Hall, Admission fee

July 8 (Fri.), 22 (Fri.), August 5 (Fri.), 19 (Fri.), September 2 (Fri.), and 16 (Fri.)

Speaker: Momoko Ochiai (Waseda University)

Total participants: 629

Related to the exhibition “Rodin and Carrière”

18:00 – 18:40, Lecture Hall, Admission fee

March 24 (Fri.)

Speaker: Mahori Kondo (Lecturer, Komazawa University)

Total participants: 43

■ Concert

Related to the exhibition “George de La Tour”

“Seeking the Sounds Heard by La Tour”

This concert was a contemporary rendering of the music of George de la Tour’s period, focusing on ancient music played on such antique instruments as the Hurdy-Gurdy (barrel organ) depicted in La Tour’s paintings.

May 12 (Thurs.), 14 (Sat.) and 15 (Sun.)

19:15 – 20:15, Lobby of the Special Exhibition Gallery

Organizers: Mari Ohashi and Mikiko Tomita

Producer: Unfini

Musicians: Le Poème Harmonique

Ticket: 3,800 yen (including admission to the exhibition)

Total participants: 300

Related to the exhibition “Dresden - Mirror of the World”

“Fear and Longing for the Ottoman Turks: The Diversity of Musical Culture Brought About by Imperial Expansion”

In relation to the Dresden exhibition, this concert focused on Turkish music and introduced the influence of Turkish military music on such composers as Beethoven and Mozart. The concert also featured a belly dancing demonstration, accompanied by a diverse array of folk music played on the uniquely Turkish instruments, the saz and the darbuka.

September 9 (Fri.) 18:00 – 19:30, Lobby of the Special Exhibition Gallery
Organizer and Lecturer: Keiko Takii (Tokyo National University of Fine Arts and Music)

Special Guest: Mitsuru Saito (Researcher of Turkish Music)

Musicians: Fujii (Saz), Junzo Tateiwa (Darbuka) and students from the Tokyo National University of Fine Arts and Music

Belly Dancers: Nenuphar and Yumi

Participants: 100

Free of charge

(3) Family Program

The Family Program is a free program held on the 2nd and 4th Saturdays of every month, aimed at children aged 6- 10 and accompanying adults. Two different programs, “Biju-tool” and “Doyo Bijutsu (Saturday workshop)”, are conducted by members of the Education Department staff and Volunteer Staff members.

■ Biju-tool

Biju-tool kit is a viewing aid for novice visitors, specifically those families with children aged 6 to 10. It includes tools and games to help them to enjoy art works in the museum collection galleries. Five types of kits were lent to families this year.

April 9 (Sat.), 23 (Sat.), May 14 (Sat.), 28 (Sat.), September 10 (Sat.), 24 (Sat.), October 8 (Sat.), 22 (Sat.), November 12 (Sat.), 26 (Sat.), 2005.
March 11 (Sat.), 25 (Sat.), 2006.

10:00 – 19:00, Permanent Collection Galleries, free of charge

Total number of borrowers: 755

■ Doyo Bijutsu (Saturday art workshop)

This program consists of art appreciation in the Permanent Collection Galleries and creative activities in the workshop room. Two programs were run during this fiscal year.

“Summer Greetings”

Participants enjoyed viewing art work in the Permanent Collection Galleries, and photographed the art work which appealed to them. With those photos, they made Summer Greeting cards and sent them to their relatives, colleagues or friends from the museum. (Same program held 8 times).

July 9 (Sat.), 23 (Sat.), August 13 (Sat.), 27 (Sat.)

10:30 – 12:30, 14:00 – 16:00

Museum Collection Galleries, Free of charge

Total participants: 131

“Secrets of Twinkling Color”

This program focused on the paintings that have gold color (gold leaf) in their imagery. Participants enjoyed looking closely at the paintings

under both day and candle lights, and then touching thin sheets of gold leaf. Then they painted their own pictures on a gold ground. (Same program held 4 times).

February 11 (Sat.), 25 (Sat.)

10:30 – 12:30, 14:00 – 16:00

Museum Collection Galleries, Free of charge

Total participants: 73

(4) School Program

■ School Gallery Talks

This program by reservation only involved group tours of the Permanent Collection Galleries, led primarily by Volunteer Staff members.

Participants: Under age of 6: 48 (3 groups)

Primary School (aged 7 to 12): 696 (16 groups)

Junior High School (aged 13 to 15): 293 (15 groups)

Over age of 16: 177 (7 groups)

Total: 1,214 (41 groups)

■ School Slide Talks

This program requiring reservations involved Education Department staff members presenting lectures explaining the works on display in the Permanent Collection Galleries or special exhibitions. These talks were aimed at large-scale audiences and held in the lecture hall.

Participants: Primary School (aged 7 to 12): 178 (2 groups)

Junior High School (aged 13 to 15): 202 (3 groups)

Over age of 16: 309 (7 groups)

Total: 689 (12 groups)

■ Museum Visits for Extracurricular Activity

These group visits involved middle school and high school students in coordination with their Integrated Courses at school. The Education Staff members guided these groups, and provided various information regarding a curator's job, art works, and the art museum itself.

Participants: Junior High School (aged 13 to 15): 95 (20 groups)

Over age of 16: 49 (6 groups)

Total: 144 (26 groups)

■ Teachers' Program

This program has been designed for elementary, middle school, and high school teachers. The program includes a brief overview of the exhibition's contents, discussion of a few works on display and free entry to the exhibition.

Related to the exhibition "Dresden - Mirror of the World"

July 15 (Fri.) 18:00 – 18:40, Lecture Hall, Free of charge

Lecturer: Naoki Sato (Curator, National Museum of Western Art)

Participants: 102

Related to the exhibition "Chiaroscuro Woodcuts from the Frits Lugt Collection in Paris"

October 21 (Fri.) 18:00 – 18:40, Lecture Hall, Free of charge

Lecturer: Shinsuke Watanabe (Associate curator, National Museum of Western Art)

Participants: 104

Related to the exhibition "Rodin and Carrière"

March 17 (Fri.) 18:00 – 18:40, Lecture Hall, Free of charge

Lecturer: Mina Oya (Curator, National Museum of Western Art)

Participants: 96

■ Teachers' Summer Seminar

July 25 (Mon.), 10:00 – 17:00, Free of charge

Contents: Discussion held about viewing art works, gallery talks for the Dresden exhibition and explanation and overview of the *Fun with Collection: Various Colored Eyeglasses Part 1* program.

Organized with Musashino City Study Group of Primary School and Junior High School Teachers

Participants: 14

August 29 (Mon.), 10:00 – 17:00, Free of charge

Content: Presentation of seminar topic, practicing the act of "seeing," which forms the basis for art work appreciation, explanation of the methodology used by art historians in their research on art works, followed by a discussion of art appreciation and how schools can utilize art museums.

Organized with Tozuken and the National Museum of Modern Art, Tokyo.

Participants: 16

(5) Volunteer Activities

A Volunteer Program was established at the NMWA in 2004 and this program began operating in the latter half of 2004. As of 2005, there were 19 volunteer staff members, and their activities have centered on Family Program and School Gallery Talk events. These volunteers also participate in training sessions held throughout the year in order to acquire the knowledge and techniques necessary for their activities at the museum.

■ Activities

Family Program *See "(3) Family Program"

• Biju-tool: Loan service

• Doyo Bijutsu: Program facilitator and program planning.

School Gallery Talk *See "(4) School Program"

Others

• Assistance for the programs of Fun with Collection "Various Colored Eyeglasses Part I: Tell me about how you see" *See "(1) Fun with Collection"

• Gallery talks for "A Day in the Museum" (January 2, 2006)

■ Training and Meeting

Apr. 7 (Thu.) Visit to the Sakurai Art Foundry

Apr. 21 (Thu.) Lecture "On Conservation" by Kimio Kawaguchi (Conservator, National Museum of Western Art)

Jun. 11 (Thu.) Trial of Doyo Bijutsu program "Summer Greetings"

Jun. 25 (Thu.) Lecture "Excavation on the Somma Vesuviana in Italy" by Masanori Aoyagi (Director, National Museum of Western Art)

Sept. 1 (Thu.) Review of the activities

Sept. 22 (Thu.) Lecture "On Fun with Collection" by Yoko Terashima (Educator, National Museum of Western Art)

Oct. 6 (Thu.) Lecture "On Conservation Science" by Masahiko Tsukada (Associate conservator, National Museum of Western Art)

Oct. 29 (Thu.) Lecture "Junior High School Students and Art" by Norio Mizunoya (Koganei Junior High School)

Dec. 15 (Thu.) Trial of Doyo Bijutsu program "Secrets of Twinkling Color"

Mar. 30 (Thu.) Review of the activities

(6) Internship

As part of its mission of developing human resources in areas related to western art and also as a way to further garner and broaden understanding of the museum's activities, the museum invites the participation of interns at the graduate student level and higher. Under the direction of a staff member, these interns help with surveys of museum art works and assist with the planning of exhibition and educational programs, with each intern taking part in hands-on work in their own specific area of specialization.

[Education]

Training Program:

1. Research on Improving Junior Passport and making Junior Passport of "Chiaroscuro Woodcuts" exhibition (See "Internship Report 2005")
2. Assistance with programs related to Fun with Collection *Various Colored Eyeglasses part 1*

Term: May 1 – October 31, 2005

Supervisors: Yoko Terashima, Chiori Fujita

Interns: Atsumi Ebina, Kayo Saito

(7) Cooperation with Other Institutions

■ Off-campus Course for the Tokyo Metropolitan Asuka Senior High School

May 20 (Fri.), 28 (Sat.), June 18 (Sat.), 24 (Fri.), July 1 (Fri.)

Contents: Overview of the NMWA, oil paintings and oil techniques, sculpture and casting techniques, and discussion of museum architecture.

Participants: 7 (aged 16 to 18)

■ Cooperation with the program “Museum Club at Ueno Hills” by National Science Museum

July 18 (Mon.) 9:30 – 16:00

Contents: Oil painting and oil techniques (art work viewing and pigment manipulation and production)

Participants: 24 (aged 13 to 15)

■ Cooperation with Graduate School of Humanities and Sociology, the University of Tokyo

Term: April 1, 2005 – March 31, 2006

Contents: This program sought to further deepen the understanding of Cultural Materials Research specialists in this program and carry out mutual exchange on research and education.

(8) Publications

■ Exhibition brochures

“Dresden - Mirror of the World”

“Chiaroscuro Woodcuts from the Frits Lugt Collection in Paris”

“Rodin and Carrière”

■ Junior Passport

Exhibition guide for primary school and Junior High School students

“Dresden - Mirror of the World”

“Chiaroscuro Woodcuts from the Frits Lugt Collection in Paris”

“Rodin and Carrière”

■ Zephyros

NMWA Newsletter, Nos. 23 – 26

(Yoko Terashima)